

I 概要

◆館の概要

館の名称：益田市人権センター「あすなろ館」(※人権センター設置及び管理に関する条例、人権センター管理運営規則、管理規程)

館の構造：鉄骨造平屋建、瓦葺

敷地面積：4,527.07㎡

建物面積：850.13㎡

施設：多目的ホール、研修室、娯楽教養室(和室)、生活改善室(給湯設備)、相談室兼図書室
ロビー(啓発物展示場)、事務室

職員体制：館長1名、館長補佐1名、主任主事1名、人権・同和教育推進員1名(会)、生活指導相談員2名(会)、消費生活相談員1名(会)

II 実施事業

1 人権・同和対策(同和教育)の推進

<人権センター主催の相談>

実 績	備 考
①巡回相談 31件 対象：同和地区住民 内容：毎月1回、相談員が定期的に訪問	・生活総合相談受理件数(P5)
②生活総合相談 130件 市民の人権に関すること(同和问题、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人など)、生活の困りごとや悩みごとなどの生活全般に関わる相談を受けた。ケースにより専門機関や適切な関係機関を紹介	

<他機関との連携による相談事業の実施>

実 績	備 考
①石見法律相談センター無料法律相談 149件 実施：石見法律相談センター 開催：毎月第3、4金曜日	
②司法書士無料面接相談 69件 実施：島根県司法書士会 開催：毎月第3木曜日	
③心配ごと相談 8件 実施：行政相談委員、人権擁護委員 開催：毎月15日	
④行政相談 5件 実施：行政相談委員 開催：毎月第1木曜日	
⑤在住外国人相談 0件 実施：島根県行政書士会 開催：相談者の必要に応じて開催	

<相談体制の充実>

実 績	備 考
①行政機関等相談担当者ネットワーク会議 管内14機関の相談機関担当者によるネットワーク会議を開催。(4回 71人)	・令和7年度行政機関等 相談担当者ネットワーク会 議実績(P6)

<同和問題対策事業>

実 績	備 考
①子ども会事業(43回 延べ211人) 人権学習や児童・生徒の学力向上、進路保障などを目的とした子ども会事業を「益田子ども会」へ委託し実施。「益田子ども会」では、児童生徒支援加配推進者と連携を図り、学習支援や体験活動などを実施（毎週木曜日 18:00～20:00） ②上黒谷集会所事業(未実施) 対象：地区住民及び周辺住民 内容：地区住民の社会的・文化的生活の向上を図るとともに地域住民も含んだ住民交流の場として開催。人権教室を実施 (※益田市立集会所設置及び管理に関する条例、管理運営規則 132㎡ S56.2.1管理開始)	

<在住外国人等支援事業>

実 績	備 考
①日本語教室（40回 延べ401人） 対象：在住外国人、日本語習得希望者 内容：益田日本語ボランティアグループ「ともがき」による日本語の日常的な会話や初歩的な読み書きのための教室を開催 開催：毎週日曜日 ②島根県外国人地域サポーターの配置 1団体	

<啓発事業>

実 績	備 考
①益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例記念事業の実施(2回) 条例制定を契機とした講演会等を実施。 ②「人権・同和教育(問題)講演会」の開催 一般市民、行政職員、学校教職員を対象とした研修会等を実施。 ③「人権センターだより」の発行 目的：情報提供や意識啓発、人権活動団体の支援 発行：年間2回 ④啓発講座の実施 人権センター連続講座「出会い・ふれあい・語り合い」事業(6回 延べ140人) 目的：市内及び近隣市町の活動実践者による身近な人権課題の発見と共有 内容：活動内容の報告や講演及び参加者との意見交換 講師：市内の外部講師 対象：市民 ⑤地区人権・同和教育推進協議会(略「地区同推協」)委託事業 i「地区同推協」委託 人権・同和問題の解決を目的とした事業を地区同推協に委託 ii「地区同推協」研修（86人） 「地区同推協」委員を対象とした全員研修を益田・美都・匹見にて実施し、人権・同和問題への取組などについて基本的な事項を学ぶ機会を提供 令和7年度については「いのち・愛・人権」展への参加を研修とみなした。 ⑥人権啓発活動地方委託事業の実施 人権啓発活動地方委託要綱に基づき、島根県の人権啓発活動委託事業を受託し、啓発を目的とした事業を実施 i 一般事業 「人権・同和问题(教育)講演会」の実施(1回) 人権啓発用DVD（1本） ii 人権の花運動（延べ436人） 市内の希望小学校に対し、花の苗等を配布し「人権の花」として人権学習の機会を提供 実施校：全15校 ⑦啓発資料の活用 i 資料の設置 人権センターなどに啓発資料を設置し、市民へ提供 ii ロビーにおけるパネル展示 人権センターのロビーでパネル展示を実施し、来館者に啓発活動を行った。また、希望団体が人権啓発パネル等の展示ができるようスペースの貸出を実施 iii 図書・ビデオ等の貸出（46件） 様々な人権課題に関する図書や啓発ビデオ等の貸出を行い、益田市学校同和教育研究部会所蔵の書籍や教材等の貸出管理も併せて行った。所蔵図書等については市公式ウェブサイトに掲載し周知	・令和7年度人権・同和问题研修会実績(P7) ・令和7年度人権センターだより(P10) ・令和7年度人権センター連続講座「出会い・ふれあい・語り合い」実績(P14) ・令和7年度人権・同和问题研修会実績(P7) ・令和7年度人権・同和问题研修会実績(P7) ・令和7年度館内パネル展示実績(P15)

<地域交流事業>

実 績	備 考
①すこやか すこカフェ(12回 延べ75人) 地域の方を対象に近年社会問題となっている住民相互のつながりの希薄化や孤立、孤独などの解消に向けて、益田市社会福祉協議会と協働しながら、地域の中で安心して過ごせる居場所づくりを目的とした事業を実施。 開催:毎月第2火曜日 内容:紙芝居・絵本読み聞かせ・DVD映写会・手指の運動・モルック・益田版 益ます元 気体操・フォークダンス・折り紙など	

<団体支援>

実 績	備 考
①施設利用の促進 (10,074人) 人権啓発活動を目的とする非営利団体等を中心に施設の貸出を行い、管理規程に定める対象団体に対しては利用料の免除などの優遇を図り側面的な支援を実施 ②石西地域人権を考える企業等連絡協議会(略:人企連) 人企連の顧問として、人企連主催の活動に対し企画運営への協力、他団体主催の研修の情報提供を行った	

<他機関との連携>

実 績	備 考
人権・同和問題の解決をめざして、協議会等の他機関、他団体との連携を図った ①島根県隣保館連絡協議会(略「島隣協」) i 総会・理事会出席 ii 研修会への参加 ②島根県同和教育推進協議会連合会(略「同推連」) i 総会・役員会出席 ii 研究集会への参加 ③石西地域人権を考える企業等連絡協議会 i 講演会の開催(2回) ii 街頭アピール活動(29名 20企業等) 内容:啓発グッズ等の配付 場所:市内スーパー 3か所 ④石西地区人権・同和教育研究協議会(略「石西人同研」) 研究集会の開催	・令和7年度人権・同和問題研修会実績(P7)

2 男女共同参画の推進

実 績	備 考
①第4次男女共同参画計画の推進及び第5次男女共同参画計画の改定 ②意識啓発事業の実施 i 男女共同参画週間等にパネル展示 ii 男女共同参画通信「なあ〜んと素敵なパートナーシップ」発行(1回) ③男女共同参画推進事業研修会(2回)	・なあ〜んと素敵なパートナーシップ(P16) ・令和7年度人権・同和問題研修会実績(P7)

3 消費者行政の推進

実 績	備 考
①消費者相談 124件 消費者からの苦情や相談に応じるとともに消費者センター石見地区相談室等と連携し、解決に向けた支援を実施 ②消費生活相談員等の養成 ③啓発活動や研修会の開催 消費者被害防止のため、益田市消費者問題研究協議会と連携し、啓発活動やセミナーを開催し、消費者の資質向上と意識啓発を図った。 i 消費者被害防止ための街頭啓発活動 内容:啓発グッズ等の配付 場所:市内スーパー 1カ所 ii 益田市消費者セミナーの開催(1回 39人) 内容:消費者被害の現状及び対処の仕方について 対象:市民、消問研関係者等	・消費生活相談受理件数(P17) ・令和7年度人権・同和問題研修会実績(P7)

生活総合相談受理事件数

(1) 相談内容

(単位：件)

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
福祉・健康相談	16	20	13
産業・職業相談	1	3	2
教育相談	1	0	0
人権相談	1	10	3
法律相談	14	7	7
生活相談	36	40	102
その他の分野に関する相談	6	6	3
合 計	75	86	130

(2) 相談者

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高齢者	31	17	25
障がい者	13	13	48
外国人	0	1	0
そ の 他	31	55	57
合 計	75	86	130

令和7年度行政機関等相談担当者ネットワーク会議実績					
回	日 時	内容・テーマ	講 師	参加人数	備 考
1	5月23日(金) 14:00~15:30	- 自己紹介及び相談業務について - 令和7年度実施計画について - 今後のスケジュールについて	各相談機関担当者	22人	
2	9月29日(月) 13:30~15:30	「他の相談員の経験から学ぶ」	島根県社会福祉士会 社会福祉士 渡辺秀美さん	15人	
3	11月27日(木) 14:00~16:00	「サイバー犯罪の現状と対策」	益田警察署 生活安全課 警部補 山崎健司さん	17人	
4	2月4日(水) 14:00~16:00	「消費者被害の現状及び対処の仕方について」	谷川法律事務所 弁護士 谷川円さん	17人	
合 計				71人	

令和7年度人権・同和問題研修会実績

	開催日時	内容・テーマ	講師	対象	参加人数	備考
1	4月17日(木) 13:30~15:30 グラントワ	犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定締結式 及び記念講演会 「亡くなった娘からの命のメッセージ」	江角由利子さん (犯罪被害者遺族)	行政職員 一般市民	市職員 72 一般市民等 128 計 200	
2	6月10日(火) 14:10~15:40 人権センター	石西地域人権を考える企業等連絡協議会 人権問題講演会 「職場におけるハラスメント の理解と防止に向けて」	佐田良二さん (島根県西部人権啓発 推進センター啓発指導講師)	企業関係者 行政職員	市職員 57 企業関係者 49 計 106	石西地域人権を 考える企業等 連絡協議会
3	6月15日(日) 10:30~11:30 人権センター	外国人のための防災講座 ～マイタイムラインの作成～	若月貴之さん (国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 河川管理課 水防企画係長)	外国人	計 18	男女共同参画 サポーター
4	6月28日(土) 13:00~15:00 人権センター	「益田市差別のない人権尊重 の社会づくり条例制定記念事業」 部落問題を通して考える日常の中の差別	上川多実さん (BURAKU HERITAGE 運営メンバー)	行政職員 一般市民	市職員 22 企業関係者 20 教職員 11 地区同推協 35 一般市民等 56 計 144	
5	7月24日(木) 13:30~15:30 人権センター	「夢ひぎよせる！人権・同和教育 2025」 性的マイノリティってなに？ ～楽しく学ぼう、LGBT、ジェンダー～	仲岡しゅんさん (うるわ総合法律事務所 弁護士)	一般市民 行政職員 教職員	市職員 56 企業関係者 5 教職員 153 一般市民等 5 計 219	
6	8月8日(金) 9:45~12:00 保健センター	「夢ひぎよせる！人権・同和教育 2025」 第25回石西地区人権・同和教育研究会 「私の想い～出会いから学び得たもの～」	森下光泰さん (NHK 大阪拠点放送局コンテンツ センター シニアディレクター チーフ・プロデューサー)	教職員 行政職員 企業関係者	市職員 74 企業関係者 8 教職員等 241 地区同推協 25 計 348	石西地区人権・ 同和教育研究協 議会
7	8月25日(月) 14:30~16:30 人権センター	企業(事業所)トップクラス人権・同和問題研修会 ネット人権侵害と部落差別の現実 ～「ビジネスと人権」時代に問われていること～	川口泰司さん (一般社団法人 山口県人権啓発セ ンター事務局長)	企業関係者 行政職員	市職員 33 企業関係者 51 計 84	石西地域人権を 考える企業等 連絡協議会

8	10月8日(水) 13:00~15:00 人権センター	人権教育地域活性化に向けた研修会 「インターネットと人権」 (パネルディスカッション) 【オンライン】	川谷幸弘さん (浜田警察署 生活安全課 生活安全係長) 福本章弘さん (島根県人権啓発推進センター 啓発指導講師) 若槻徹さん (松江市教育委員会学校教育課 教育指導講師)	行政職員 地区同推協 企業関係者	市職員 21 企業関係者 2 地区同推協 2 計 25	島根県
9	10月21日 (火) 13:30~15:00 保健センター	益田地域行政関係者人権・同和問題研修 「インターネットと人権」 【オンライン】	小林正和さん (オフィス・ドウ・プラス代表)	行政職員 地区同推協 民生児童委員	市職員 25 計 25	島根県
10	11月4日(月) 10:00~11:45 人権センター	「益田市差別のない人権尊重 の社会づくり条例制定記念事業」 みんなが幸せになるために考えよう ～あなたの人権は守られていますか～	奥田均さん (近畿大学名誉教授)	企業関係者 行政職員	一般市民 7 人企連 7 市職員 13 教職員 15 同推協 19 諸団体 10 計 71	記念事業
11	11月9日(日) 9:30~12:00 人権センター	外国人のための防災講座 ～避難所運営ゲームHUG～	小川律子さん (男女共同参画サポーター)	外国人	外国人 7 サポーター 3 とちがき 6 市職員 4 計 20	男女共同参画サポーター
12	11月13日 (木) 13:30~15:00 保健センター	ヤングケアラー支援を考える研修会 「ヤングケアラーに求められること」	宮本恭子さん (一般社団法人ヤングケアラーサポートネットワーク代表理事)	一般市民 教職員 行政職員 民生委員	計 70 (内市職 29)	子ども家庭支援課
13	12月7日(日) 13:30~15:30 総合福祉センター	「夢ひきよせる！人権・同和教育 2025」 今ここにある部落差別～差別を許さない生き方 を選ぶことができるように～	吉岡綾さん (部落解放同盟福岡市協議会 青年部)	一般市民 教職員 行政職員 地区同推協	一般市民 31 教職員 40 市職員 16 行政職員 1 地区同推協 7 計 95	記念事業 益田 87 吉賀 3 津和野 3 その他 2

14	12月5日(金)～ 12月11日(木) 人権センター 総合福祉センター	第12回「いのち・愛・人権」展	パネル展示等	一般市民 教職員 行政職員 地区同推協	学校 1,491 一般市民 160 教職員 77 行政職員 13 市職員 67 地区同推協 61 人企連 237 計 2,106	益田 2,078 吉賀 11 津和野 9 その他 8
15	12月6日(土) 総合福祉センター	第12回「いのち・愛・人権」展 映画上映 「普通に生きる～自立をめざして～」		一般市民 教職員 行政職員 地区同推協	一般市民 21 教職員 1 行政職員 4 地区同推協 12 計 38	益田 33 吉賀 4 津和野 1
16	12月7日(日) 総合福祉センター	第12回「いのち・愛・人権」展 映画上映 「破戒」全国水平社創立 100 周年記念映画		一般市民 教職員 行政職員 地区同推協	一般市民 73 教職員 10 行政職員 2 地区同推協 13 人企連 1 計 99	益田 85 吉賀 5 津和野 3 その他 6
17	2月4日(水) 14:00～16:00 人権センター	令和 7 年度益田市消費者セミナー 「消費者被害の現状と対処の仕方について」	谷川円さん (谷川法律事務所 弁護士)	一般市民 行政職員 消問研	一般市民等 8 市職員 25 消問研 6 計 39	消問研

研修 17 回 参加者数 3,707 人 (うち市職員 514 人)

(うち記念事業 2 回 参加者数 239 人)

(うち地区同推協 8 回 参加者数 174 人)

人権センターだより

〒698-0036 須子町3-1
TEL 31-0412
FAX 31-0414

12月4日～10日は「人権週間」です

一人ひとりの人権が尊重される、差別や偏見のない明るい社会の実現のためには、一人ひとりが人権問題を自分自身の問題として捉え、自らも人権が尊重される社会を築き上げる担い手であることを認識し、その実現に主体的に取り組む必要があります。今年は、3年に1度益田・鹿足実行委員会が開催する「いのち・愛・人権」展(12月5日～11日開催)の年です。皆様のご来場をお待ちいたします。

展示物等

概要

開催日 12月5日(金)～11日(木) **会場** 益田市人権センター

時間 平日：午前9時～午後6時30分(最終入館時間午後6時)
土日：午前9時～午後5時30分(最終入館時間午後5時)

□障がい者の人権コーナー

障害者差別解消法等をもとに、障がい者への理解を求めるパネル紹介。簡単な手話体験や盲導犬のデモンストレーションなど。

□多文化共生と人権コーナー

多文化共生と人権文化のまちをめざして民族差別やハンセン病問題、沖縄・アイヌ等先住民族の歴史・文化について。外国人住民に対する吉賀町の取組紹介。

□子どもの人権コーナー

児童虐待、里親、子どもの権利条約等子どもの人権に関わる内容のパネル紹介。管内高校等の人権教育の取り組み紹介。

□女性の人権コーナー

「DVをなくそう」をテーマに現状を紹介し、互いを認め、尊重しあえる関係づくりについて考える。

□特定失踪者と拉致問題コーナー

特定失踪者「益田ひろみさん」についての啓発活動紹介をとおし、真相の究明と拉致問題への関心を深める。

□平和・戦争問題コーナー

「戦後80年、平和で安心して暮らせる日本、そして世界をめざして」をテーマにヒロシマ・ナガサキの原爆や沖縄戦の悲惨さから「平和とは」を問いかける。

□人権啓発推進コーナー

「益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例」や「津和野町人権・同和行政基本指針」の紹介。「一人ひとりを大切に」をテーマに自死や性の多様性など様々な人権課題についてのパネル展示。来館者の要望に応じて人権啓発DVDがロビーにて視聴できます。

□高齢者の人権コーナー

「認知症とともに生きる」をテーマに、令和6年施行の「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」や認知症 関連したサービス等の紹介など。

□企業と人権コーナー

差別のない公正な採用選考についての啓発と、「石西地域人権を考える企業等連絡協議会」の活動紹介をとおして、企業における社会的貢献を考える。

□部落問題コーナー

「部落差別・冤罪を考える」をテーマに、「STOP!冤罪」と題し狭山裁判の現状等をパネル紹介。

講演会

□12月7日(日)

演 題:「今ここにある部落差別～差別を許さない生き方を選ぶことができるように～」

講 師:吉岡 綾さん(部落解放同盟福岡市協議会 青年部)

時 間:午後1時30分～午後3時30分

会 場:益田市総合福祉センター

その他:申込不要 入場無料 手話通訳・要約筆記あり



映画上映

□12月6日(土)・映画ドキュメンタリー「普通に生きる～自立をめざして～」(83分)

映画概要:障がい者の日常をテーマとしたドキュメンタリー。

上映時間:第1回目:午前10時～ 第2回目:午後1時30分～ 第3回目:午後4時30分～

会 場:益田市総合福祉センター

そ の 他 申込不要 入場料 500円 (18歳以下無料)



□12月7日(日)・映画「破戒」全国水平社創立100周年記念映画(119分)

映画概要:差別に対する悲憤を描いた島崎藤村の名作を60年ぶりに映画化。

上映時間:1回目:午前10時～12時 第2回目:午後4時～6時

会 場:益田市総合福祉センター

そ の 他:申込不要 入場無料



☕「すこやか♡すこカフェ」開催中 ☕

地域のみなさんの孤立・孤独等々の解消に向けて安心して過ごせる居場所づくりを目的として実施しています。

益田版 益ます元気体操で体を動かしたり、モルックやスカットボールで遊んだり、ぬりえ、ちぎり絵やおりがみ等で季節や年間行事に合わせた作品を作成したり、皆さんで歌を歌ったりして過ごしています。

老若男女問わず、誰でも楽しめるようなレクリエーションを通して参加者同士の交流を深めています。また参加者の皆さんからどんなことがしたいかやどんなことが楽しかったかなどのご意見をいただきながら運営を進めています。

参加申込は不要ですので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

開催日 12月16日(火)、1月13日(火)、
2月10日(火)、3月10日(火)

時 間 10時から12時



*当館では年間を通して様々な人権啓発講演会・講座(市民参加型)を計画し、「広報ますだ」・「市公式ウェブサイト」にてご案内しています。また、各種人権課題に応じた啓発用 DVD を貸し出しております。企業内や地域にて小グループの会合や、各種サロン等開催時の人権研修にご活用ください。

なお、生活相談等も随時受け付けておりますので、お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。また、弁護士や行政書士等による無料相談会(要予約)も開催しています。詳細は問い合わせください。

令和7年度 人権センターだより

第2号

〒698-0086 須子町3-1

TEL 31-0412

FAX 31-0414

～ 一人ひとりの人権が尊重され、誰もが暮らしやすいまちへ ～

「益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例」ができました

市では、全ての人の人権が尊重され、個性や多様性を認め合うことのできる社会の実現をめざし「益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例」を令和7年4月に施行しました。

この条例では、差別のない人権尊重の社会づくりを進めるうえでの基本となる考えのほか、市民や事業者の皆さん、市が行うべきことなどを定めています。

市ホームページ「益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例を制定しました」➤



～条例の主な内容～

市が取り組むこと

- ・市政のあらゆる分野において、人権尊重の視点に立って取り組みます。
- ・差別のない人権尊重の社会づくりに必要な施策を総合的、計画的に推進します。

市民のみなさんへ

- ・人権に対する意識を高め、他の人の人権を尊重するよう努めましょう。
- ・人権問題の解消に向け、自らも積極的かつ主体的な役割を果たすよう努めましょう。

事業者のみなさんへ

- ・事業活動に関わる人の人権を尊重するよう努めましょう。
- ・人権尊重の視点に立って事業活動を行うよう努めましょう。

人権を侵害する行為の禁止（第7条）

家庭、学校、職場、地域、インターネット上など社会におけるあらゆる場所や場面で、差別的言動、いじめ、虐待、プライバシーの侵害、誹謗中傷等他の人の人権を侵害する行為を行ってはけません。

人権教育および人権啓発の推進（第11条）

市は、差別のない人権尊重の社会づくりを推進するため、あらゆる機会をとらえて人権教育に取り組むとともに、人権啓発の充実に努めます。

相談および支援体制の充実（第12条）

市は、人権侵害に関するさまざまな相談に的確に応じ、必要な支援を行うため、国、県、その他関係する組織と連携し、相談および支援体制の充実に努めます。

「益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例」

記念事業を開催しました

「益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例」について理解を深めるための学習の場として、令和7年11月4日に奥田均さん（近畿大学名誉教授）をお招きしご講演いただきました。

講演会では条例の名称にある「差別のない人権尊重の社会づくり」という言葉に焦点を当て、差別や人権の課題を考える上での重要なポイントを、具体例として部落問題を取り上げ、抽象的な議論ではなく具体的にわかりやすく人権問題についてお話されました。

【部落差別の現状と課題】

条例の目的は、差別のない社会をめざすことで、これは裏を返せば、現在も差別が存在していることを示しており、部落差別は、直接見聞きたことがない人々の間で、存在の有無について意見の食い違いが生じている。

近年では、インターネット上での部落差別を助長する情報（動画による地区の映像流出や墓地の暴露等）、悪質な書き込みや誤った情報による人権侵害も新たな課題として挙げられている。



【差別解消に向けて】

差別や人権侵害をなくすためには、差別の存在を個人の認識の違いではなく、社会問題としてとらえることで解消できる。私たちが作り出してしまった差別は、社会を構成する私たちが差別問題を抱える当事者だと受け止め、私たちの取組によって解消することができる。

条例は市民に対して差別のない人権尊重の社会づくりの担い手であることを認識し、生活の場で互いに人権を尊重するよう努めることが求められており、市民が主体的に差別解消に向けた役割を果たすことに努めてほしいと書いてある。

また、事業者に対しても差別のない社会の担い手としての自覚を促すなど、社会全体で差別解消に向けた取り組みを進めることが期待されている。

【今後の展望】

社会づくりの主役は市民であり、差別問題を社会問題としてとらえることで差別はなくなっていくという考え方をぜひともこの条例から学んでほしい。そのためには、この条例の主役である市民に知ってもらうことが必要である。この条例の普及と実践のために、学校・職場・地域など様々なところで広めることが重要であり、これにより、条例の理念が地域全体に浸透し、差別のない社会づくりが進むことを期待している。

【参加者アンケートより】

私たちが作り出した「差別」は、私たちの取組によって解消することができるからこそ、もっと学ぶ必要があるとあらためて感じた。「社会づくりの主役は市民」、この言葉を忘れずにいようと思う。

「差別」に対する認識は本当に人それぞれだと感じる。まずは、これからは誰もが「差別はある」と素直に実感して、認識することが大切だと改めて思った。差別を受けている当事者以外の人たちが実感として認識することは難しいが、このような研修会が、そのきっかけになれば良いと思う。



* 当館では年間を通して様々な人権啓発講演会・講座（市民参加型）を計画し、「広報ますだ」・「市公式ウェブサイト」にてご案内しています。また、各種人権課題に応じた啓発用DVDを貸し出しております。企業内や地域にて小グループの会合や、各種サロン等開催時の人権研修にご活用ください。

なお、生活相談等も随時受けておりますので、お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

また、弁護士や行政書士等による無料相談会（要予約）も開催しています。詳細は問い合わせください。

令和7年度人権センター連続講座「出会い・ふれあい・語り合い」実績					
回	日 時	内容・テーマ	講 師	参加人数	備 考
1	9月30日(火) 14:00~15:30	『笑って夏バテをふきとばそう!』	笑いヨガリーダー 藤原登紀枝さん	16人	
2	10月28日(火) 13:30~15:30	『日本語のOボ歴 24年になりました』 ※Oボ: ボランティア	大谷雅子さん	18人	
3	11月25日(火) 13:30~15:30	『VR認知症体験 ~VRの機器を活用して、認知症本人の視点に立ってみませんか~』	島根県高齢者福祉課・益田市高齢者福祉課 職員	11人	
4	12月21日(日) 14:00~16:00	『ブラジル生活での異文化交流体験について』	小学校教諭 来島さゆりさんファミリー	16人	
5	1月27日(火) 14:00~16:00	『社会的養護と社会復帰支援について』	島根県親会会長 兼 保護司 関口晃司さん	10人	
合 計				71人	

令和7年度館内パネル展示実績

	テーマ	内容	掲示期間	備考
1	男女共同参画週間	男女共同参画意識調査結果、男女共同参画に関する図書の紹介	6/21～6/30	パネル、図書
2	女性に対する暴力をなくす運動	相談機関紹介、暴力防止	11/12～11/25	パネル、ポスター掲示、チラシ、啓発グッズ配布
3	北朝鮮人権侵害問題啓発週間	北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深める	12/10～12/16	パネル、ポスター掲示、チラシ、啓発グッズ配布

第5次益田市男女共同参画計画を策定しました

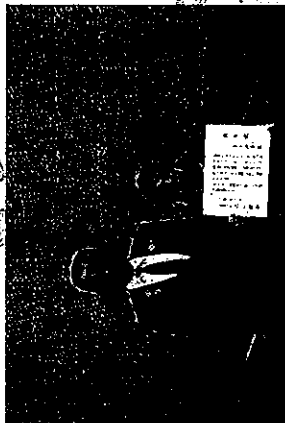
市では、令和 6（2024）年 12 月に「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しました。その結果をみると、依然として固定的な性別役割分担意識や男女の平等感が残っている状況がうかがえます。また、少子高齢化の進展や社会経済情勢の変化、人々の生活様式や価値観が多様化する中で、女性はもとより、子ども、高齢者、男性にとっても、多様な生き方を可能にする環境づくりが求められています。

こうした状況を踏まえ、「第4次益田市男女共同参画計画」の計画期間が令和7（2025）年度で終了することから、これまでの取組の成果や課題を検証し、国や本市の状況、新たな課題も踏まえた「第5次益田市男女共同参画計画」を策定しました。

本計画では、「男女共同参画社会基本法」の5つの基本理念を踏まえ、「参画推進条例」に規定している7つの基本理念に基づいて、以下の4つの基本目標及び8つの基本施策を柱に男女共同参画社会の実現を目指します。

基本目標	基本施策
I. 男女共同参画の意識づくり	1. 人権と多様性を尊重する意識の醸成
	2. 配偶者等からのあらゆる暴力の根絶 と困難な問題を抱える女性への支援
II. 安心・安全な暮らしの実現	3. 生涯を通じた健康支援
	4. 安心して暮らせる環境づくり
III. あらゆる分野における女性の活躍	5. 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
	6. 女性の活躍推進
IV. 男女共同参画社会の実現	7. 男女共同参画の視点に立った各種制度の整備
に向けた環境整備	8. 男女共同参画の視点に立った防災体制の確立

令和7年度島根県男女共同参画ポーターに対する事業感謝状贈呈



男女共同参画推進に対する功績が讃えられ、島根県男女共同参画サポーターの小川律子さんが島根県知事から感謝状を贈呈されました。

小川さんは公民館職員や行政職員向け避難所運営講座や外国人向け防災講座を男女共同参画の視点を含め多様な視点から実施し、防災理解促進にも貢献されました。

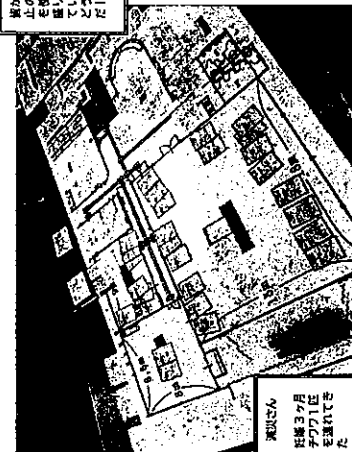
業導進推画參同共男女田益歳令和
推開日二月

外国人のための防災講座

男女共同参画サポーター、益田日本語ボランティアグループ「とまがき」、市危機管理課、人権センターの共同で、外国人のための防災講座～避難所運営ゲームHUG～を開催しました。

この講座では、人権センターを避難所と見立てて、いろいろな事情がある人（ケガをしている、急に配置できるかをカードを使ったゲームで体験しました。

避難に関する難しい言葉をやさしい日本語に直したり、参加者同士お互いの視点や意見を反映したりしながら協力して避難所運営について考えました。



明日仮設風呂が2基到着します。どこに設置するか決めようといっています。

【発行】益田市人権センター

TEL 0856-31-0412 • fax 0856-31-0414

ウェブサイト: <http://www.city.masuda.lg.jp>

E-mail : jinken@city.masuda.lg.jp

消費生活相談受理件数

(単位：件)

(1) 販売購入形態

項 目	令和6年度	令和7年度
通信販売	45	53
不明・無関係	37	24
店舗購入	25	23
電話勧誘販売	8	15
訪問販売	9	8
訪問購入	1	1
マルチ・マルチまがい取引	1	0
合 計	126	124

(2) 相談内容分類（重複内容あり）

項 目	令和6年度	令和7年度
インターネット通販	37	40
価格・料金	43	28
解約	26	25
詐欺	24	19
連絡不能	24	18
定期購入	8	17
契約書・書面	30	16
電子広告	9	15
S N S	9	10
返品	8	8

(3) 商品・役務別相談件数

項 目	令和6年度	令和7年度
商品一般	18	11
役務その他	4	11
融資サービス	7	10
化粧品	4	8
インターネット通信サービス	6	6
健康食品	7	4
自動車	6	4
他の金融関連サービス	4	4
空調・冷暖房・給湯設備	5	2
書籍・印刷物	5	1
戸建住宅	5	1